

## 地域おこし協力隊紹介

～私と活動と、時々、暮し～

都市部から地方への移住を促進する国の制度「地域おこし協力隊」。個性溢れる隊員自らが活動を紹介しますシリーズ！

《問合せ》環境経済課 ☎21-9096

### vol.12

子どもの「生きる力」を育む



## 西谷 浩子

西宮市出身。食品会社、臨床試験の解析補助業務を経験し、昨年11月に移住。植村直己冒険館を拠点に活動中。趣味はゲーム、絵を描くこと。

### 植村直己さんの素朴さに引かれて

移住のきっかけは、テレワークで働く中、植村直己さんの『エベレストを越えて』を読み、その人間くささを知ったことです。また、植村直己冒険館に新しく「どんぐりbase」ができ、地域コミュニティの拠点、子どもの想像力を育む場所として魅力を感じたためです。鳥取県で大学の4年間を過ごし、山陰の気候が想像できたこと、アーティストが好きなことも、移住する上で大きな要素でした。

### 豊岡の雪と生活

豊岡に住み始めて半年経ちます。冬には10年ぶりにスノーボードをしました。こんなに速くて融通が効かないスポーツをするなんて、もうないと思っていたのに不思議です。他にも、今はまだまだ知らない豊岡の街を少しずつ訪れているところです。

### 身近に感じる場所として

植村直己冒険館は昨年4月にリニューアルオープンしました。植村さんの経験や言葉を発信し、現在のチャレンジャーを紹介する展示スペース



▲どんぐりbaseの大型ネット遊具。親子で遊びにきてください

に加えて、植村さんが大切にしていたチャレンジする心を育む子ども遊具施設「どんぐりbase」、カフェスペースも新設されました。新しい組織の中で、私は子どもの「やってみよう」「挑戦してみよう」を応援する企画・運営に携わっています。一つ一つが新しい挑戦で、うまくできないことばかりです。自分ができること、みんなのために生かせること、その方法を模索中です。

来場者に新たな体験、安心できる空間の提供が少しでもできたと感じた時とでもうれしく感じます。そして私自身、仕事とは違うコミュニティに関わることで学べるのがたくさんあるので、これから少しずつそういう場面を増やしていきたいです。

# 「コウノトリ育む」商標の使用には申請が必要です

「コウノトリ育む」は本市が所有する登録商標です。商品名や商品の説明に「コウノトリ育む」またはそれに類似するものを使用するには一定の基準を満たしている必要があります(使用には申請必要)。

### 申請が必要な使用例

○商品名への使用

「○○さんが作ったコウノトリ育む美味しいお米」

○商品の説明への使用

「コウノトリ育むふるとと栽培された大豆です」

### 商標の使用基準

商標を使用できるのは次のいずれかに該当する場合があります。

○コウノトリ育む農法により米または大豆を生産する団体または個人(市内で生産された米または大豆にあっては「コウノトリの舞」農産物の認定を受けているものに限る)

○コウノトリ育む農法により生産された米もしくは大豆を原料とした酒類、もち類

もしくは加工品の製造または米大豆等の売買取引を行う者

### 商標の2次使用

承認を受けた者は、使用承認を受けた商標を他者に使用させることができます(使用させる場合は届け出が必要)。

### 【届け出が必要な例】

生産者Aが「コウノトリ育むAさんのお米」で使用承認を受け、製造者Bがそのお米で作った「コウノトリ育むAさんのお米で作ったお酒」を製造・販売する場合、生産者Aから2次使用の届け出が必要です。

※申請から承認まで1カ月から半年以上かかる場合もあります。早めに相談してください。

### 《問合せ》

農林水産課

☎23-11127





▲竹野海岸



▲神鍋高原



ユネスコ世界認定を受けて11年。  
みんなと一緒に活動を盛り上げたいのう



みんなのジオパーク 第1回  
ここは「山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク」です



私たちが暮らす豊岡市は、ユネスコが認定した「山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク」の一部です。全体は、東から京都府の京丹後市、兵庫県の豊岡市、香美町、新温泉町、鳥取県の岩美町、鳥取市で構成される広大なエリアです。ここでは、日本列島が大陸の一部だった時代から現在に至るまでの多様な地形や岩石を見ることができ、またその上に生きる動植物の営みや、歴史・文化を感じることができます。

そしてこのジオパークには「玄武洞」「神鍋山」「竹野海岸」「立岩」「鳥取砂丘」など、見どころが至る所にあります。それらは観光資源としてのみならず、教育や自然体験の場としても活用され、地域のシンボルとしても人々に親しまれています。

地球の恵みを思いっきり体感できる山陰海岸ジオパークは、日本国内に9カ所しかない「ユネスコ世界ジオパーク」の一つです。そのように、世界的な価値を認められた地に私たちは住んでいるのです。ジオパークについてお伝えするこのコーナー、次回もお楽しみに。

《問合せ》山陰海岸ジオパーク推進協議会  
☎26-3783

## 災害の記憶を風化させない

### 北但大震災メモリアル写真展

今から97年前の大正14(1925)年5月23日午前11時9分頃に起こった北但大震災では、豊岡・城崎地域を中心に428人が亡くなり、1,712戸が全焼するなど、甚大な被害が発生しました。

この災害の記憶を風化させることなく、防災・減災対策に生かすため、北但大震災メモリアル写真展を開催します。

**5月13日(金)~26日(木)**

※火曜日は休み

午前10時~午後6時(金・土は午後7時)

図書館本館2階(京町5-28)

▶内容 北但大震災当時の写真展示、防災グッズの紹介



▲豊岡駅前の被害

▶その他 図書館本館のカウンター付近にミニコーナーを設置し、災害関連の図書を展示します。

《問合せ》防災課☎23-1111

## 防災行政無線

Jアラート

### 全国瞬時警報システムの訓練放送

**5月18日(水)午前11時**  
豊岡市全地域対象

地震・津波や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム(Jアラート)からの緊急情報を、確実に皆さんに伝えるため、訓練放送を実施します。

各家庭などの戸別受信機と屋外拡声器から、最大音量で「これは、Jアラートのテストです」という内容が一斉に放送されます。緊急時の正常動作を確認するために行うものです。皆さんの理解と協力をお願いします。

※気象・地震活動の状況等によっては、訓練放送を中止することがあります。



《問合せ》防災課☎23-1111